

Version7.6.9 $\sim$ 

# **日**次

# お使いになる前に

動作環境

## 1 プロテクトドライバのインストールの確認

#### 2 ファイアウォール設定の確認

#### 2-1 ファイアウォール設定確認方法

- 2-1-1 WindowsVista / Server2008の場合
- 2-1-2 Windows7 / Server2008R2の場合
- 2-1-3 Windows8 / 8.1 / Server2012 / 2012R2 の場合
- 2-1-4 Windows10 の場合
- 2-2 WINDOWS ファイアウォール以外の場合・・・・

### 3ネットワークプロテクトの使用

- 3-1 ネットワークプロテクトへの接続(初回起動時)
- 3-2 プロテクト接続方法の変更

# 4 ネットワークプロテクトユーティリティ

4-1 サーバー監視モニタツール 4-2 ライセンスの取り消し 4-3 サーバープログラム

### 5困ったときは・・・

5-1 困ったときのチェック方法

# お使いになる前に

このガイドは、ネットワークプロテクトを使用、設定するときなどにお使い下さい。 使用前に、動作環境をご確認下さい。

### 動作環境

### ◆ネットワークプロトコル

「TCP/IP」が動作するネットワーク環境が必要です。 (「NetBEUI」・「IPX/SPX」には対応しておりません)

## ◆本体

上記ネットワークプロトコルが動作するコンピュータ。

※ネットワークプロテクトを取り付けるサーバー及びクライアントコンピュータが、同一 LAN (Local Area Network)環境にあり、それぞれのコンピュータが相互にアクセスでき る状態にあること。

※但し、他のコンピュータからのプロテクト確認の為、常時起動している必要があります。

### ◆必須ソフトウェア

ネットワークプロテクトを取り付けるコンピュータに、プロテクトを認識させる 【プロテクトドライバ】と【サーバープログラム】をインストールする必要があります。 ※ローカルコンピュータにはインストールの必要はありません。 ※ソフトウェアは本ソフトインストール CD に添付しております ※プロテクトドライバのセットアップ方法は、『インストール手順』もしくは『セットアップ ガイド』を参照ください。

### ◆動作保証ネットワーク体系

動作を保証するネットワーク体系は、LAN(Local Area Network)のみです。 WAN(Wide Area Network)環境には対応していません。

🖺 このマークは、注意・警告事項のマークです。よくお読みください。

# 1. プロテクトドライバのインストールの確認

# 1プロテクトドライバのインストールの確認

プロテクトドライバのインストールがお済みでない場合は、『プロテクトドライバセットアップガイド』を参考にプロテクトドライバをインストールします。

- 🦺 インストール作業で、以下の3種類のソフトウェアがインストールされます。
  - 1. プロテクト用ドライバ
  - 2. サーバープログラム(ライセンス数を管理する常駐プログラム)
  - 3. サーバー監視モニタツール

# 【インストールが完了しているかどうかの確認方法】

⚠OS により、画面や名称の違うところがあります。

1. 下記の手順でインストールされているログラムの一覧を開きます。





をクリックします。

### >>ネットワークプロテクト設定ガイド<く



**2.** "Sentinel Protection Installer 7.6.9"が加わっていることを確認します。

■ Windows Vista / Server2008 の場合



■ Windows 7 / Server2008R2 の場合



■ Windows 8 / 8.1 / Server2012 / 2012R の場合



# ■ Windows 10の場合

🧊 プログラムと機能			- 🗆 ×
ע-םאעב < מֿ י א י → ע	パネル > プログラム > プログラムと機能		✓ ひ プログラムと… ♪
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ツール	(T) ヘルプ(H)		
コントロール パネル ホーム	プログラムのアンインストールまたは変更		
インストールされた更新プログラムを 表示	プログラムをアンインストールするには、一覧からプログラムを選	監択して [アンインストール]、[変更]、または [イ	修復] をクリックします。
Windows の機能の有効化または (n+1)。			
<b>黑</b> 匆化	整理 ▼ アンインストール 変更		1 🗉 🗐
	A #	2x d=	++/-7 ^
	Sentinel Protection Installer	SafeNet, Inc.	11.0 MB
			~
	SafeNet, Inc. 製品パージョン: ヘルブのリンク: http://www	サポートのリンク: http://ww Asafenet-inc.。 更新情報: http://ww	ww.safenet-inc.com ww.safenet-inc.com

**3.** 確認後、ウィンドウ右上の ☑ でウィンドゥを閉じます。

# 2. ファイアウォール設定の確認

# 2 ファイアウォール設定の確認

プロテクトドライバのインストール時にネットワークプロテクトで使用するネットワーク上のポートをファイアウォール機能でブロックしないように設定が追加されますが、その設定が有効になっているかの確認を行います。







>>ネットワークプロテクト設定ガイドくく



3. 【受信の規則】 マークになる	に『Sentinel Protection S なっているか確認をします。	Server』の文字の右	のアイコンが
かせキュリティが強化された Wind マームル(F) 提供(A) まーの	dows ファイアウォール		
ファイル(E) 操作(A) 衣示(⊻)	ヘレノ(圧)		
	受信の規則		操作
<ul> <li>■ 法信の規則</li> <li>■ 法信の規則</li> <li>■ 法信でが成日</li> <li>■ 法</li> <li>■ 監視</li> </ul>	<ul> <li>タ前</li> <li>Sentinel Protection Server</li> <li>BranchCache コンテンツ取得 (HTTP</li> <li>BranchCache ゼア検出 (WSD-受信)</li> <li>BranchCache ホスト型キャッシュ サ</li> <li>iSCSI サービス (TCP 受信)</li> <li>iSCSI サービス (TCP 受信)</li> <li>Media Center Extender - HTTP スト</li> <li>Media Center Extender - qWave (TC</li> <li>Media Center Extender - qWave (UD</li> <li>Media Center Extender - RTSP (TCP</li> <li>Media Center Extender - SSDP (UDP</li> <li>Media Center Extender - XSP (TCP</li> <li>Media Center Extender - XSP (TCP</li> <li>Media Center Extenders - Media スト</li> <li>Netlogon サービス (NP 受信)</li> <li>Secure Socket トンネリング プロトコ</li> <li>SNMP トラップ サービス (UDP 受信)</li> </ul>	グループBranchCache - コンテンBranchCache - ピア検出 (BranchCache - 北スト型iSCSI サーピスiSCSI サーピスiSCSI サーピスMedia Center ExtenderMedia Center ExtenderMetiogon サーピスSecure Socket トンホリSNMP Trap	<ul> <li>受信の規則</li> <li>▲</li> <li>新しい規則</li> <li>プロファイルでフィ →</li> <li>プリロファイルマクー</li> <li>マグループでフィルター</li> <li>マグループでフィルター</li> <li>表示</li> <li>●</li> <li>●</li> <li>●</li> <li>●</li> <li>●</li> <li>●</li> <li>●</li> <li>●</li> <li>●</li> <li>○</li> <li>●</li> <li>○</li> <li>●</li> <li>○</li> <li>○</li></ul>
< >	<	4	<u> </u>

# ・チェックが入っていない場合は、ダブルクリックで設定画面を開き 「接続を許可する(L)」を選択して、「OK」ボタンをクリックします。

Sentinel Protection Serverのプロパティ	×
プロトコルおよびボート スコープ 詳細設定     全般 プログラムおよびサービス	2 ユーザー コンピューター
全般 名前(N): Sentinel Protection Server 説明(D): ▼ 有効(E)	
操作 ● 接続を許可する(L) ● セキュリティで保護されている場合、接続を許可 カスタマイズ(Z)… ● 接続をブロックする(B)	[\$\$(S)

>>ネットワークプロテクト設定ガイドくく



**1**. 【コントロールパネル】の【Windows ファイアウォール】を開きます。



「システムとセキュリティ」をクリックします。



セキュリティの項目から、「Windows ファイアウォール」をクリックします。

Windows ファイアウォール ファイアウォールの状態の確認 | Windows ファイアウォールによるアプリケーションの許可

2. 「詳細設定」をクリックします。 \_ 🗆 🗙 1 Windows ファイアウォール ( → ↑ ● > コントロール パネル > システムとセキュリティ > Windows ファイアウォール ✓ C □>h□-... P ファイル(E) 編集(E) 表示(Y) ツール(I) ヘルプ(H) Windows ファイアウォールによる PC の保護 コントロール パネル ホーム Windows ファイアウォールによって、ハッカーまたは悪意のあるソフトウェアによるインターネットまたはネットワークを経由したアク セスを防止できるようになります。 Windows ファイアウォールを介した アプリまたは機能を許可 通知設定の変更 接続済み 🔿 🧭 プライベート ネットワーク(R) Windows ファイアウォールの有効 ネットワーク上のユーザーとデバイスを認識および信頼している、ホームまたは社内ネットワーク 化または無効化 明定値に戻す Windows ファイアウォールの状態: 有効 🍘 詳細設定 着信接続; 許可されたアプリの一覧にないアプリへのすべての接続をプロ ネットワークのトラブルシューティング ックする

3. 【受信の規則】に『Sentinel Protection Server』の文字の右のアイコンが								
マークにな     マーク     マーク	なっているか確認をします。							
<ul> <li>マークにん</li> <li>ビキュリティが強化された Win</li> <li>ファイル(E) 操作(A) 表示(Y)</li> <li>マーカル コンピューターのセ</li> <li>受信の規則</li> <li>受信の規則</li> <li>送信の死対</li> <li>強 接続セキュリティの規則</li> <li>影 認</li> </ul>	ないる力が推認をします。 dows ファイアウォール ヘルプ(出) 受信の規則 を前 の を前 の Sentinel Protection Server の BranchCache ビア検出 (WSD-受信) の BranchCache ビア検出 (WSD-受信) の BranchCache ビア検出 (WSD-受信) の BranchCache ボスト型キャッシュ サ の ISCSI サービス (TCP 受信) の Media Center Extender - HTTP スト Media Center Extender - HTTP スト Media Center Extender - qWave (UD Media Center Extender - qWave (UD Media Center Extender - RTSP (TCP Media Center Extender - SSDP (UDP Media Center Extender - XSDP (UDP Media Center Extender - Media スト Netlogon サービス (NP 受信) Secure Socket トンネリング プロトコ SNMP トラップ サービス (UDP 受信) イ 10000000000000000000000000000000000	グループ   BranchCache - コンテン BranchCache - ピア検出 ( BranchCache - ピア検出 ( BranchCache - ポスト型 iSCSI サービス iSCSI サービス iSCSI サービス Media Center Extender Media Center Extende	操作         受信の規則       ▲         額 新しい規則       マ         マ ブロファイルでフィ ♪       マ         マ ガループでフィルター       ▶         マ グループでフィルター       ▶         マ クループでフィルター       ▶         マ クルノブ       ▶         Sentinel Protection Server       ▲         ● 規則の無効化       ↓         ↓ 切り取り       ■         □ プロパティ       ↓         マ ヘルプ       ▲					

# ・チェックが入っていない場合は、ダブルクリックで設定画面を開き 「接続を許可する(L)」を選択して、「OK」ボタンをクリックします。

Sentinel Protection Server	のプロパティ			×
プロトコルおよびボート 全般 プロ	スコープ コグラムおよびサービ	詳細設定 ス ↓	ב- בטלב	₩- -
全般 名前( <u>N</u> ): Sentinel Protect 説明( <u>D</u> ): ▼ 有効(E)	tion Server		A +	
操作 ● 接続を許可す ● セキュリティでイ カスタマイズ( ● 接続をブロック	る(L) 米護されている場合 ②… する( <u>B</u> )	、接続を許可す	-3( <u>S</u> )	

>>ネットワークプロテクト設定ガイドくく



### >>ネットワークプロテクト設定ガイド<く

3. 【受信の規則 ③ マークに	」)に『Sentinel Protectio こなっているか確認をします	n Server』の文字( 「。	の右	のアイコンが	
<ul> <li>         セキュリティが強化された Win ファイル(E) 操作(A) 表示(Q)      </li> <li>         マート・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション</li></ul>	dows ファイアウォール ヘルプ(出)			- 0	×
	受信の規則 多音 ダ Sentinel Protection Server	วีน-วี		#作 受信の規則 ■ 新しい規則…	•
> 驅 監視	0		7	7 プロファイルでフィルター 7 状態でフィルター 7 グループでフィルター	) ) )
	0			表示     最新の情報に更新     一覧のエクスポート	•
	0		S	● ペルフ entinel Protection Server ● 規則の無効化 ↓ 切り取り	•
< >	<	,		<u>שב-</u>	

・チェックが入っていない場合は、ダブルクリックで設定画面を開き 「接続を許可する(L)」を選択して、「OK」ボタンをクリックします。

Sentinel Protection Serverのプロパティ

Х

プロトコルおよびポート	、スコープ 詳細設定 ローカル プリンシパ	ル リモート ユーザー
全般	プログラムおよびサービス リモー	-ト コンピューター
全般		
名前(N) Sentine	t al Protection Server	
[说明( <u>D</u> )	t:	
		^
日本 전 本 전	h/E)	×
操作	x <u>c</u> /	
() 接続	5を許可する(L)	
▼● ● セキ	コリティで保護されている場合、接続を許可す	'ବ( <u>S</u> )
カン	スタマイズ(Z)	
○ 接続	毛をブロックする( <u>B</u> )	

# 2-2 Windows ファイアウォール以外の場合・・・・

「ウィルスバスター」等の他のファイアウォールソフトをご使用の場合はネットワークプロ テクトで使用するネットワーク上の以下のポート番号をファイアウォール機能で除外しない ように設定する必要があります。

※ネットワークプロテクトで使用するポート番号は以下の通りです。

【サーバープログラム用通信ポート】

ポート番号	6001
プロトコル	UDP

【ライセンス管理「Sentinel License Monitor」用通信ポート】

ポート 離明	6002
プロトコル	ТСР

「Sentinel License Monitor」にてライセンス管理を行わない場合はサーバープロ グラム用のポートのみの設定でもネットワークプロテクトの使用は可能です。

↓お使いのソフトでの設定方法は、お使いのソフトのヘルプもしくはお使いのソフトのサポ ートセンターへご確認ください。

# 3. ネットワークプロテクトの使用

# 3 ネットワークプロテクトの使用

ネットワークプロテクトドライバのインストール、ネットワークプロテクトの取り付けが完 了しましたら、次に本ソフトを使用する各ローカルコンピュータの設定をします。

# 3-1 ネットワークプロテクトへの接続(初回起動時)

(1) デスクトップにある本ソフトのアイコンをダブルクリックします。

(2)「プロテクトを認識できませんでした」とメッセージがでてきます。

(3)「ネットワーク上のマシンのプロテクトを使用する」にチェックを入れ、

ネットワークプロテクトが取り付けてあるコンピュータのIPアドレスまたはホスト名を 指定します。また、必要に応じて"タイムアウト時間"※を設定します。(初期設定値は5時間)

-現在の7泊テクト認識状況	◆「IP」と「ホスト名」について
2泊テ外を認識できませんでした。	1. FIPJ (IP 71' VX)
	→TCP/IP ネットワーク上でコンピュータを識別するための
C ID 172 24 1 15	32bit のアドレス。「192.168.100.100」のように
	8bit ごとに区切った 4 つの数字で表記されます。
	2. 「杁H名」
タイムアウト時間 5時間	→ネットワーク上の IP アドレスをもつマシンを表す名前のこ
	と。 叔ト名を使うことで、 IP アド レスを指定しなくて
	もネットワークプロテクトが使用できます。

### ※「タイムアウト時間」とは

ソフト立ち上げると、ネットワークプロテクト内の1ライセンスを消費した形になり ます。そのライセンスは、ソフトをきちんと終了させれば、終了させた時点で開放さ れまた新たに利用可能となります。

そのライセンスが正常に解放できない(ソフトの異常終了・利用途中での強制電源断・ 画面を表示したまま放置した場合など・・・)と、永久に消費したままになります。 それを一定時間アクセスが無い(ネットワークプロテクトに利用中のソフトからの 応答がない)場合に、ライセンスを強制的に解放します。

時間は1時間~10時間まで設定可能です。

▲強制終了等でソフトを利用していないのに、すべてのライセンスを消費してしまった場合、 ライセンスを強制的に開放しするしかありません。

詳細は、以下の「困った時のチェック方法」、をご参照ください。

# 3-2 プロテクト接続方法の変更

ネットワークプロテクトへの接続後、他のネットワークプロテクトが接続されているコンピ ュータへ接続先を変更したい。または、ネットワークプロテクトからローカルプロテクトへ の変更、タイムアウト時間の変更等、設定を変更したい場合は、環境設定から変更が可能で す。

(1)本ソフトを起動します。

デスクトップにある本ソフトのアイコンをダブルクリックします。

(2)「基本設定」メニュー内の「環境設定」メニューをクリックします。

.

(3)環境設定の	3)環境設定のツールバー プロテゥト 【プロテクト】ボタンをクリックします。					
プロテクト設定			×			
□見在のプロテクト認識	状況		◆現在のプロテクト認識状況			
<b>₩</b> ~~ ネットワークス	加テ外を検出しています。		コンピュータからのプロテクト認識状況を確認できます。			
			表示は、以下の3種類あります。			
⊙ IP	172 . 24 . 1 . 15	$  \rangle$	1.「ロー加プ ロテクトを検出しています.」			
○ 木水名			→使用中のコンピュータに通常のプロテクトが付いている状態			
タイムアウト時間		5時間	2.「ローカルマシンでネットワークプロテクトを検出しています。」			
	OK tootal		→使用中のコンピュータにネットワークプロテクトが付いている状態			
	OK HVJEN		3.「ネットワークプロテクトを検出しています。」			
			→ネットワーク上のコンピュータのネットワークプロテクトを認識している状態			

(4) 必要な項目を設定変更をして、[OK]をクリックします。

1 ここで設定変更した場合は、本ソフトを起動し直してください。

# 4.ネットワークプロテクトユーティリティー

# 4 ネットワークプロテクトユーティリティ

プロテクトドライバをインストールすると、ドライバの他に、ネットワークプロテクトを管理・監視するソフトがインストールされます。ここでは、その利用法について説明します。

# 4-1 サーバー監視モニタツール

このモニタツールは、ネットワーク上にあるネットワークプロテクトを検索し、その状態を 表示します。現在どのくらいのライセンスが消費されているか確認できます。

# 《「Sentinel License Monitor」を使用するための条件》

- ネットワークプロテクトを取り付けているマシンにプロテクトドライバがインストー ルされていること
- クライアントのブラウザで Javascript が有効になっていること
- クライアントが「Internet Explorer 7.0 以降」/「Mozilla Firefox 47.0 以降」/ 「Chrome」/「Edge」を実行していること。
- ・ネットワークプロテクトを取り付けているマシンで「[TCP][6002]」のポートが使用
   可能であること。

# 《起動方法》

- ① 「Internet Explorer 7.0以降」/「Mozilla Firefox 47.0以降」/「Chrome」/ 「Edge」を起動します。
- ② 「アドレス」バーにネットワークプロテクトが取り付けられていて、「Sentinel Protection Server Ver.7.1.0以降」が実行されているマシンの名前かIP アドレ スを次のように入力します。
  - ■「コンピュータ名: protect」、「IP アドレス: 192.168.1.106」の場合

⇒ [http://192.168.1.106:6002] もしくは [http://protect:6002]

③ ENTER キーを押すと、Sentinel License Monitor のページが開きます。

>>ネットワークプロテクト設定ガイド<く

🙆 Sentinel License	Monitor - Windows I	nternet Explorer								×
📀 🕞 🗢 🙋 ht	tp://172.24.1.47:600	2/				🔻 🗟 🍫	🗙 🕒 Bing			<del>ب</del>
👷 お気に入り 🛛	🏉 Sentinel License M	onitor				🐴 🕶 🗟 🔻	🖃 🚔 🕶 ページ(	<u>₽</u> ) • セーフティ( <u>s</u> )	<ul> <li>ツール(<u>0</u>) </li> </ul>	<b>••</b> ••
Sentinel L	icense Moni	tor								Î
System Address:	<http: 172.24.1.47:<="" td=""><td>6002/&gt;</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>E</td></http:>	6002/>								E
Sentinel Protecti	on Server Version 7	.6.0								
This web page sh	ows you details of th	e keys attached/in:	stalled on the syste	m.						
Please click on a key number to view the details about the clients who are using the licenses available with this key.										
										_
Keys#	Key Type	Form Factor	Serial Number	Model Number	Hard Limit	Licenses-In-Use	Highest Used	Time-Outs	Sublicense	
1	SuperPro	USB	0x00003804	*	10	0	1	0	>>	
ページが表示されまし	.1-						ミット レ 保護エード・ス	하	√S ▼ ● 100%	+
- Swawenst	//_					U 1 79-1	ショント 1 木成モート: 作	9.80	*# • <b>Q</b> 100%	t.

#### •Key#(キー番号):

キー番号は、プロテクトを識別するために付いている番号です。 この番号は特に意識する必要はありません。

(プロテクトが2個ついている場合は、"1"と"2"が表示されます)

### • Hard Limit(ハードリミット):

そのプロテクトで使用できるライセンスの最大数。 ローカルプロテクトの場合は"1"と表示されます。 ネットワークプロテクトの場合はライセンスの最大数です。 この値は、ご契約ライセンス数ではなく、プロテクト本体の登録可能な最大数です。 (ご契約のライセンス数についてはサポートセンターまでお問い合わせください。)

• License-In-Used (現在使用中のライセンス数):

現在使用中のライセンス数を表示します。

• Highest Used (最大使用数):

接続されているネットワークプロテクトに対して、同時に消費したライセンスの最大数。 ご契約されているライセンス数を超えることはありません。

・TimeOuts (タイムアウト数):

ネットワークプロテクトからライセンスを取得したが、 サーバーによってタイムアウトとなったクライアント数です。

※タイムアウトはクライアントがネットワークプロテクトが接続されているサーバーと 定期的に通信せず、ライセンスを維持するのに失敗した場合に発生します。

# 4-2 ライセンスの取り消し

Sentinel License Monitor を使うと、ブラウザ上で現在使用中のライセンスの取り消しを 行うことができます。

強制終了等で未使用なはずのライセンスが残ってしまっている場合にも他の使用中のライセンスに影響を与えることなく特定のライセンスを取り消すことができます。

# 《ライセンスの取り消し手順》

ライセンスの取り消しを行うためにはまずはパスワードの設定を行う必要があります。 既にパスワードを設定済みの場合は③からの手順を行います。

 「Sentinel Protection Server」がインストールされているマシン(ネットワークプ ロテクトを取り付けたマシン)の「PwdGenUtility.exe」を実行し、ライセンスの取り 消し時に必要なパスワードを設定します。

■「PwdGenUtility.exe」の場所

⇒<OS | <sup>\*</sup> *ī*1*7* <sup>\*</sup> *X*¥ProgramFiles¥Common Files¥SafeNet Sentinel¥Sentinel Protection Server¥WinNT

※64BitのWindowsの場合は「ProgramFiles」が「ProgramFiles(X86)」に なります。

Password Generation Utility	afeNet.	
Sentinel Password Generation Utility Copyright (C) 2009 SafeNet, Inc. All rights reserved.		
This utility is used to create an Protection Server.	administrator password for the Sentinel	
Enter Password:		
Confirm Password:		
	OK Cancel	

※パスワードは半角英数字で8文字~16文字の間で設定をします。

※パスワード設定時に作成される「sntlpass.dat」は移動や削除をしないでください。

>>ネットワークプロテクト設定ガイド<く

.

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、		
「許可」または「はい」を選択してください。 ■Windows Vieta / Server2008の提合		
プログラムを操行するにはあなたの許可が必要です あなたが開始したプログラムである場合は、操行してください。		
SPI Component SafeNet, Inc.		
<ul> <li>※ 詳細(D)</li> <li>(反) またンセル</li> </ul>		
ユーザー アカウント制御は、あなたの許可なくコンピュータに変更が適用 されるのを助ぎます。		
■Windows 7/ Server2008R2 の場合		
プログラム名: SPI Component 確認済みの発行元: SafeNet, Inc. ファイルの入手先: ごのコンピューター上のハード ドライブ		
○ 詳細 伝表示する(D) はい(Y) いいえ(N)		
これらの通知を表示するタイミングを変更する		
■Windows 8 /8.1/Server2012/2012R2 の場合		
プログラム名: SPI Component 確認済みの発行元: SafeNet, Inc. ファイルの入手先: このコンピューター上のハードドライブ		
<ul> <li>(○) 詳細を表示する(<u>D</u>)</li> <li>(はい(Y))</li> <li>しいしえ(N)</li> <li>これらの通知を表示するタイミングを改更する</li> </ul>		
■Windows 10 の場合		
🌍 ユーザー アカウント制御 🛛 🗙		
?? このアプリが PC に変更を加えることを許可しますか?		
プログラム名: SPI Component 確認済みの発行元: SafeNet, Inc. ファイルの入手先: このコンピューター上のハードドライブ		
◇ 詳細を表示する(D) はし(Y) しいえ(N) これらの语知を表示するタイミングを変更する		

② 「Sentinel Protection Server」を再起動します。 設定したパスワードを有効にするためには、Sentinel Protection Server」を再起動 する必要があります。再起動方法は以下のように行います。

▲「Sentinel Protection Server」を再起動すると、既に使用中のライセンスがキャンセルされた状態になります。設定を行う際はライセンスが使用されていない状態で行うようにしてください。

(1) "loadserv.exe"を実行してサーバープログラムを終了します。
 〈OS ドラ1ブンギ:Program Files¥Common Files¥SafeNet Sentinel¥Sentinel
 Protection Serverにある

"loadserv.exe"を実行し、「Remove Service」ボタンでサーバープログラムを停止します。

※64BitのWindowsの場合は「ProgramFiles」が「ProgramFiles(X86)」になり ます。

(2)次にサーバープログラムを再起動(開始)します。

<OS ド ラ17 シミ¥:Program Files¥Common Files¥SafeNet Sentinel¥Sentinel Protection Serverにある

"loadserv.exe"を実行し、「Install Service」ボタンでサーバープログラムを開始します。

※64Bit の Windows の場合は「ProgramFiles」が「ProgramFiles(X86)」になり ます。

※上記方法以外にもサーバープログラムがインストールされたマシン自体の再起動 でも構いません。

③ [4-1.サーバー監視モニタツール]の手順でブラウザの起動します。

### >>ネットワークプロテクト設定ガイド<く

④ ライセンスの確認・取り消しを行いたい「Keys#」の番号をクリックします。

Sentinel License Monitor
System Address: <http: 192.168.1.106:6002=""></http:>
Sentinel Protection Server Version 7.1.0
This web page shows you details of the keys attached to
Please click on a key number to view the details about the

Kevs	Кеу Туре	Serial Number	Þ
1	SuperPro	0x00001E2B	

⑤ ライセンスの利用状況が表示されます。

取り消したいライセンスの「Cancel」のチェックボックスにチェックを入れます。

License Usage for the Key				
Serial Number: 0x00001E2B Following are the usage details of each license available with key.				
Cancel			Client/Access Mode	User Name
	~		windows2000pro	Administrator
			windows2000pro	Administrator

⑥ 画面下にある「Cancel License Session」ボタンをクリックします。



⑦ 手順の①で設定したパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。

Password	
Enter the au request. Password	Ithentication password to complete the license cancel
	OK Cancel

⑧ ライセンスが取り消されます。

# 4-3 サーバープログラム

サーバープログラムは、ネットワークプロテクトを接続しているサーバー(コンピュータ)上 で常駐している必要があります。通常はドライバインストールと同時に常駐するようになり ます。

# 《起動方法》

特に起動の操作は必要ありません。 ネットワークプロテクトドライバ**のインストールと**同時に常駐するようになります。

※以下の場所にインストールされています。

<OS ドライブ>:¥ProgramFiles¥Common Files¥SafeNet Sentinel¥Sentinel Protection Server ※64BitのWindowsの場合は「ProgramFiles」が「ProgramFiles(X86)」

# 《手動での停止・起動の方法》

ライセンスが開放されない等の理由で、サーバープログラムを一時終了させなければならない場合は、以下のいずれかの方法で手動停止できます。停止後、再度起動させてください。

### (1) "loadserv.exe"を使用する。

①上記のインストール場所にある"loadserv.exe"を起動します。



### >>ネットワークプロテクト設定ガイドくく

②Executable Path に「・・・¥winnt¥spnsrvnt.exe」となっているのを確認(異なる場合は横の"... "ボタンを押し、設定してください)をして、停止の場合は「Remove Service」を、再度起動する場合は、「Install Service」を押してください。



③確認メッセージが出てきますので、[OK]をクリックします。



「Install Service "サーバープログラムの起動"」をした場合



④設定が変更されたら、自動的にウィンドウが閉じます。



# 5 困ったときは・・・

# 5-1 困ったときのチェック方法

	内容	チェック項目
1	ソフトを起動すると	■プロテクトはしっかり接続されていますか?
	「プロテクトが見つからないか、製	■ネットワークコンピュータ上のネットワークプロテクト
	品 No が登録されていません」とメ	を利用する場合ネットワークプロテクトの設定ができてい
	ッセージが出る。	ません。設定を確認してください。
		(1-2 ネットワークプロテクトの設定参照)
		■プロテクトを接続しているポートは正しいですか?
		デバイスマネージャーで正常に動作しているか確認してく
		正常に動作していない場合は、接続ホート用のドライバを
		更新してみてくたさい。
		■ノロテクトトフ1ハは、止常に1 シストールされていま   すか0
		9 / ) ?   西度 プロニクトドライバたマンインフトール   アープロ
		丹皮、ノロナクトトノイハをアノイノストールして、ノロ   ニクトドライバたインフトール」 アカアイださい
		ノントトノイバタイノストールしてのてへについ。  (2プロテクトドライバーアンインフトールチ順と 1-1 プロテク
		(2.) ロノノド・ショハーデン・コンテ順と「「ノロノノ」
		■ 上記の原因ではない場合は、プロテクト自体が破損して
		いるかもしれません。
		お近くのサポートセンター又は販売店へお問い合わせくだ
		さい。
2	プロテクトドライバーが正常に削除	「2-4 プロテクトドライバがアンインストールできない場
	できない	合」をご参照ください。
З	ソフトを起動すると	■ネットワークプロテクトを認識できていません。以下の
	「SP_INTERNAL_ERROR 内部	ことを確認してください。
	エラーが発生しました。(送信また	■ネットワークプロテクトが接続されているコンピュータ
	は受信されたメッセージの暗号化か	は起動していますか?もしくは、ネットワークに接続でき
	復号の失敗など)」とメッセージが出	
	<u>ත</u> .	■ネットワークフロテクトはしっかりと接続されています
		■ソノトを起動9るコンヒュータはイットリークに接続で キエいますか0
		こしいより// ?   ■ \/ フトた記動するコンピュータのネットロークプロテク
		■ クノトを起動するコノビュータの不少トワークフロナク
		「「の設定が間違うている可能性がありよう。設定を確認し
		(1-2 ネットワークプロテクトの設定参昭)
		■お使いのコンピュータの[TCP/IP」の設定はきちんとで
		きていますか?ネットワークプロテクトは「TCP/IP」が設
		定されたネットワーク環境でないと動作しません。ネット
		ワークの設定を、ネットワーク管理者にお尋ねください。
		■上記の原因ではない場合は、プロテクト自体が破損して
		いるかもしれません。
		お近くのサポートセンター又は販売店へお問い合わせくだ
		さい。

>>ネットワークプロテクト設定ガイドくく

4	ソフトを起動すると	■ご契約ライセンス数の全てのソフト起動中です。使用していたいソフトを紹えさせ、再度お動た」たおしてくださ
	SP NO LICENSE AVAILABLE	「これないシントを終」とし、再度起動をしなのしてくたと
	ライセンスが現在全て使用中です。 期限切れになりました。この要求に 使用できるライセンスサーバーがあ りません。」とメッセージが出る。	■一定時間使用していなかったため、ライセンスがタイム アウトし、別のソフトがライセンスを使用しています。使 用していないソフトを終了させ、再度起動をしなおしてく ださい
		・ 頻繁にタイムアウトが発生する場合、タイムアウトの時間設定が短いと思われます。時間設定を少し長めに設定してみてください。
		<ul> <li>(1-2 ネットワークプロテクトの設定参照)</li> <li>■ ト記を確認してもまだメッセージが出る場合は、ソフト</li> </ul>
		やコンピュータの強制終了によりライセンスが開放されて
		いない可能性があります。現在起動しているソフトを一旦 終了し、サーバープログラムの停止・再起動を行ってくだ
		さい。 (1-3-2 サーバープログラム「手動での停止・起動方法」
		を変現し

●上記のチェック項目を確認・作業しても正常に動作しない場合は、お近くのサポートセ

ンターまたは販売店へお問い合わせください。

※ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことが ありましたらご連絡下さい。

(4) 運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承下さい。

第1回発行2003年5月9日第7回発行2007年4月9日第2回発行2004年3月31日第8回発行2007年6月4日第3回発行2004年9月30日第9回発行2010年1月31日第4回発行2005年7月15日第10回発行2013年5月20日第5回発行2005年9月26日第11回発行2015年12月15日第6回発行2006年8月31日第12回発行2018年3月

このマニュアルは弊社の許可なく複製・改変を行うことはできません。